



吉備の里 vol.32

就労継続支援B型事業所
福祉ホーム

吉備の里 希望

KIBINO製品



パソコン作業



リサイクル作業風景



へそびーグッズ



吉備中央町マスコットキャラクター
ブッポウソウの「へそびー」

サマーパーティー



- さらなる躍進へ -

新たに「吉備の里希望」として、就労継続支援B型事業と福祉ホーム事業に移行し、はや4年が経過しようとしています。

就労継続支援B型事業では、自動車部品加工・ヘッドホンクリーニング・リサイクル作業、名刺・屋内看板等の印刷、レーザー加工による製作・販売を行うなど、生産活動に関わる技術の習得と能力の向上を図り、付加価値の高い商品開発などにより、工賃の向上に繋げるため日々努力しています。

また、歓迎会・サマーパーティー・研修旅行・忘年会など皆さんに喜んでいただけるように年間を通して様々な行事を開催しています。福祉ホーム事業では、快適で住みやすい居住環境を提供するとともに、日常生活に必要なサービスの提供を行っています

今後とも、一人ひとりが自立して安心・安全に生活していけるよう日々邁進していきたいと思ひます。



所長
小馬 孝男

娯楽室での団らん



共用室にて調理



吉備の里 なでしこ

障害者支援施設
(施設入所・自立訓練・就労移行)



粕漬け(瓜・きゅうり)
¥250

お問い合わせ先
TEL : 0866-56-7779

なでしこ名物の紹介♪

なでしこでは、訓練のなかで花苗や粕漬けをつくっています！
夏に収穫し、粕に漬けた瓜がきれいなべっこう色になってきました☆
パンジー・ピオラもすくすく大きくなっています。
お問い合わせはお気軽になでしこまで…♪



花苗 ¥60

来年は優勝あるぞ!!

6月7日(日)、晴天の中、絶好のお祭り日和で第32回吉備の里ふるさと祭りが行われました。毎年恒例となっている、イベントの一つ「長縄跳び大会」に今年もひなぎくは『チームフレッシュア』として参加しました。長縄跳び大会は7チームのトーナメント方式で競技が行われます。多くの利用者・ご家族から盛大な応援を受け、今年初めて一回戦突破(勝利)。残念ながら二回戦では負けてしまいましたが、大会に参加した利用者から「来年は優勝するぞ」と力強い言葉が飛び交い大会を終えました。



吉備の里 ひなぎく

就労継続支援B型事業所



吉備の里 たんぽぽ

生活介護事業所

かかし祭り三回目の挑戦!!

今年も「吉備中央町かかし祭り」に参加して、茨城県のゆるキャラ『ねばーる君』を製作しました。残念ながら今回は入賞できませんでしたが、きびプラザやトマト銀行賀陽支店(11月)から依頼があり、地域のイベントにも展示していこうと思います。



完成☆



自治会活動について

つばき寮では、自治会役員の方を中心に活発な活動をされています。

会長・副会長・書記の三名が寮内の約束事や行事の企画などを相談し、職員と一緒に取り組んでいます。

自治会一泊旅行や定期的に利用者研修を開催したり、余暇活動では映画鑑賞や野球観戦など、それぞれの趣味に沿った活動を行っています。

自治会役員さんは責任を持ち、しっかりリーダーシップをとって頑張っています。

USJハリリーポッター



吉備の里 つばき寮

宿泊型自立訓練事業所



利用者研修(ドコモ)



グループホーム意見交換会

地域生活ホームの各グループホームでは、朝と夜の食事を世話人さんによる手作りで提供しています。入居者の皆さんの健康を第一に考え、栄養バランスを重点においたメニューを世話人さん自らが考えています。「いつも頑張っている皆さんに、家庭的なおいしい食事を味わってほしい!」と、世話人さん。創意工夫をされた愛情いっぱいメニューです。

この日の夕食メニューは「ご飯」「豚の生姜焼き野菜添え」「ポテトサラダ」「きんぴら風炒め」「冷奴」「枝豆」の6品。しっかりと栄養を摂ってもらおうと野菜を多く取り入れた内容でした。

単身生活を目指す方は、将来に向けて自炊ができるように、世話人さんと一緒に調理に参加しています。

日々の「食」を通じ、入居者の皆さんが少しでも健康意識をもった生活を送り、自分の目標や夢を叶える原動力になってくれれば…、と世話人さんはいつも願っています。



記念日等には入居者の方のリクエストにも応えることがあります。例えば夏には「スタミナをつけよう!」とバーベキューを実施したり、誕生日には入居者の皆さんと一緒にケーキを作ったりしています。

ふれあいロードレースのボランティアスタッフとしても活躍していただきました!



吉備国際大学社会福祉学科 実習生
 渋谷侑里 (4年) 小川祥希 (3年) 森岡玲奈 (3年)
 実習期間: 平成27年8月3日(月) ~9月4日(金)
 吉備の里地域生活ホーム

口渋谷さん

吉備の里の職員さん、利用者・入居者さん、一か月お世話になりました。利用者・入居者さんが朝「おはようございます」と毎日明るく挨拶してくれたおかげで、毎日元気をもらい、その日一日頑張ることができました。職員さんからは丁寧な指導をしていただき、学びを深めることができました。一か月間、ありがとうございました。

口小川さん

利用者さんは私たちと同じで一人一人に個性があるということに改めて気づきました。利用者の皆さんを支援する立場になったとき、一人一人の性格や特性を理解して、心の奥にある利用者さんのニーズを引き出すことが支援者として重要なのだと学びました。

口森岡さん

一ヶ月ありがとうございました。利用者の皆様と吉備の里の作業を一緒に体験したりお話をしたりすることができ、充実した実習をすることができたと感じています。また機会がありましたら、吉備の里の行事に参加し利用者の皆様とお話をしたいです。本当にありがとうございました。

プロ意識を高めよう!! 吉備の里

チャレンジ

就労継続支援A型事業所



今回は、3つある作業班のうち、屋内清掃班(ビルメンテナンス)を紹介いたします。

この班は、2名(男1、女1)の支援員と9名(男5、女4)の利用者の方が近隣にある事業所の清掃を行っています。「お客様に喜んでいただける快適空間の演出」をモットーに月曜日から金曜日までの朝7時30分から15時30分まで働いています。

わが町福祉フォーラムを終えて…

2015. 10. 31

平成27年度の福祉フォーラムテーマは、「自分(本人)らしさ」でした。

基調講演は、四肢麻痺になりながらも医師をめざし、現在精神科医としてご活躍されている流玉雄太(りゅうおゆうた)先生をお迎えしました。医学部の受験、医師になることは、「裸足でエベレストに登るようなもの」と表現した人もいたといいます。そんな中での医学部入学、さらに医師国家試験合格を果たされました。

「障害者が健常者と同じ土俵に立つことに困難は多いが、夢をあきらめず、私の後に続いてほしい」と、貫いた信念に心を揺さぶられました。

2部のシンポジウムでは、当事者家族にも登壇いただき、地域の中で、本人らしさを支えてきたエピソードをお話いただきました。

「自分(本人)らしさ」って何でしょう?

家族、支援者としていかに向き合っていけばいいのでしょうか?それぞれの立場から考え直してみました。



昨年の様子



インフルエンザ

普段からできる予防法は？

- ①外出後はうがい・手洗いをする
 - ②室内の乾燥を防ぐ（洗濯物を干す、加湿器を使うなど）
 - ③流行時期は人混みを避ける
 - ④マスクをする（自分だけでなく周囲の人のために）
 - ⑤バランスのよい食事と睡眠をとる
- * 熱がありそうと感じたら、体温を測りましょう
また、自分の平熱を知っておきましょう

吉備の里では、昨年度、幸いにもインフルエンザの集団発生には至りませんでした。が各事業所では数名の方が感染されました。インフルエンザは一度かかった人でも型やシーズンが変わればまたかかる可能性があるため注意しましょう。

- ・流行時期
11月上旬頃から散発的に発生
1月下旬から2月にピーク
- ・予防接種
効果が出るまでに接種してから約2週間かかる
効果は接種をしてから4~5か月持続する
通常の流行期は12~2月なので、遅くとも12月中旬までに行うことが望ましい
ワクチンで完全に予防できるものではない
目的は重症化の予防（発症の予防ではない）



第32回 吉備の里ふるさと祭り



ご来場ありがとうございました！！



【協力企業・団体】

- ロウズ観光(株)
- 両備商事(株)
- 岡崎塗装店
- トヨタカラー岡(株)
- (有)フレッシュア
- (株)ハルタ
- (有)小山商会
- 宮田楽器



吉備中央町社協永年勤続功労賞受賞

吉備中央町社会福祉大会に於いて、永年勤続功労賞をいただきました。これからも、作業活動を通し、利用者の方々と共に汗を流し、共に感動しながら働きたいと思っています。



渡辺政美 主幹 秋山充 副所長

故 杉江隆敏さんによせて

母は誰よりも深く子を愛し、子は何よりも強く母を愛した。

昨年12月、入居者の方が急逝された。入院の翌朝に静かに息を引き取られた。家族のだれもが半年前に亡くなった母親が迎えに来たと呟き、姉は「お母さんのところへ往きたがっていたから…」と漏らされた。

吉備の里での人生も波瀾万丈であった。その度に母親は寄り添い続けた。

人生の半分を吉備の里と共に過ごされた。母親は亡くなる前に「吉備の里が見てくれるから安心して往ける…」と話されたらしい。

私たちの支援について全幅の信頼を置かれ、逆に家族の方に励まされた。

あの眼差しと言葉には、感謝しかない。



地域生活ホーム所長 丸山カ

～遠い国からのお客様～

平成27年9月16日、吉備中央町内でホームステイをされている方々が、希望の印刷作業を見学に来られました。出版販売をしている道の駅「かもがわ円城」で木製ストラップを見て、興味を持たれたとのこと。ストラップの種類のだと、レーザー加工機で加工した後、一つ一つ手作業で丁寧に仕上げる様子に驚いておられました。見学後は、全員で記念撮影。言葉は通じなくても笑顔でしっかり交流することができました。



共同募金福祉車両

吉備の里地域生活ホームでは、平成26年度赤い羽根共同募金の配分を受け、通院支援・移送用として車両を整備させていただきました。交通の便に恵まれない我が町では、車両の存在は不可欠です。この車両によって、



まで以上に適切な時間での支援が実施できるようになり、皆様の善意に感謝しながら運行しております。

寄付寄贈

- 杉江勝己様より
社会福祉事業のための寄付金
- 松井正壽様より
竹箒 (10本)
- 大石隆夫様より
絵画



ありがとうございます